

## TI-blue small kit 使用法

- ・本品は、主として低真空 SEM(反射電子像)用のキットです。
- ・20本の各チューブには原液で50 $\mu$ l分のTIブルーを乾固しております。
- ・2本のスクリュウチューブ内には合計約2mlの希釈液(pH9.5)があります。
- ・希釈液50 $\mu$ lをマイクロピペットで分注し、チューブ内の乾固したTIブルーを完全に溶かして下さい。(原液より薄い濃度をご希望であれば、適宜希釈液の量を変えて下さい。)

### 簡単な手技

- ① パラフィン包埋された切片をキシレンで脱パラ後、エタノール下降系列を経て、蒸留水を通す。
- ② 水気を軽く切ったスライド上の組織切片にTIブルー溶液をマウントし、室温で10~15分間染色する。
- ③ 染色後スライドガラスを蒸留水に1~2分浸して切片を洗う。
- ④ 水洗後組織切片が載ったスライドガラスは、水気を切り試料台にカーボン両面テープで固定後低真空SEMの試料室に挿入する。

参考文献： ・Tanaka.K.& Inagaki.K..JElectron Microsc 42: 255 (1993)  
・Inaga.s.et al.. Arch Hisol Cytol 70(1): 43-49 (2007)  
・稲賀すみれ S.I.News Vol.53 No.1 3-7(2010)

TIブルーの廃液は、重金属扱いとして廃棄処理して下さい。

日新 EM 株式会社